

この会社にきた理由がわかった

1000日間

特定医療法人社団千寿会 三愛病院

企業で活躍する若手社員の紹介

社員採用側と就職活動側、お互いのゴールは「入社」ではなく、「定着」から活躍であることは周知であると思う。

せっかく人材のマッチングが行われ入社に至っても、定着までにかかる日数が業界それぞれに存在する。

「定着までの心理と時間の谷」

その多くは1000日に現れることが多いと言われている。

「谷を越えて来た」9人のインタビューから、それぞれの背中を押したポイントを探ってみたい。

看護師さんが憧れ

ほかの職業は想像できませんでした。

中学生のころから部活動でバレエポールをしていました。

今思うと部活動ではケガも多く、整形外科のクリニックへ通院していました。そこで働く看護師さんの「手際の良さ」「やさしさ」「気配り目配り」、なんだか一挙手一投足に目を引かれていた覚えがあります。

多分、部活動でキャプテンとして周りをまとめていきたいとの思いもあり、なおさらその看護師さんに憧れを強くしたのだと思います。

進路は迷うことがありませんでした 家族も賛成してくれました。

高校に進み、様々なボランティア活動や看護体験などを通じて進路選択をする頃には、看護学校への進学を具体的に考えていました。

しかしながら、地元には看護学校がなく進学するには親元を離れる必要があつて不安はありましたが、家族も進学に賛成し応援してくれました。



看護師に

なるための進学と就職

さらに、進学することになってからも地域の病院（現在働いている病院）では病院奨学金制度があり、それを利用させてもらうことで、進学する経済的負担は大きく減りました。

ただ実際親元を離れてみると少しホームシックになったこともありましたが、その経験からか家族との仲は、さらに良くなった気がしています。

大変なことも看護学校の同期と乗り越えた感じです！。今でも仲良しです。

今、恵まれている環境を

感じているので、そこで成長したい。

ここは働く私たちにたくさん支援してくれています。

奨学金制度もそうですが、就職してからも、社員寮や食事の支援、院内保育の設備や男性職員の育休などにも力を入れていきますし、教育支援制度もあります。

新人看護師だった自分を様々なコミュニケーションで支えてくれている先輩がいるこの場所で成長し、看護師を続けていけるよう頑張っていきたいと思っています。

